

NICU・GCU で治療歴のある患者さんおよびそのご家族へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	新生児および乳児におけるリネゾリドおよびバンコマイシン投与による低ナトリウム血症の比較検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 臨床感染症学講座 (職名) 教授 (氏名) 三嶋廣繁
研究の対象となる方	2014年10月から2023年4月の間に、愛知医科大学病院のNICUまたはGCUにて抗MRSA薬リネゾリドまたはバンコマイシンが点滴で3日間以上投与された0-1歳の患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 成人では、バンコマイシンと比較してリネゾリド投与後に低ナトリウム血症の頻度が高いことが報告されています。しかし、小児領域における検討はされていないため、新生児および乳児を対象にリネゾリドおよびバンコマイシン投与後の低ナトリウム血症の発症率を比較します。</p> <p>[利用方法] 電子カルテを用いてデータ収集を行い、抗菌薬使用状況、感染症、併用薬、採血データなどを調べます。</p> <p>[外部への試料・情報の提供] 非該当</p> <p>[外部への提供開始日] 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、抗菌薬使用状況、感染症、併用薬、採血データなどを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年2月28日までにメールにより下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	shibata.yuuichi.414@mail.aichi-med-u.ac.jp
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 薬剤部 担当者：(職名) 薬剤師 (氏名) 柴田 祐一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線：34253)